

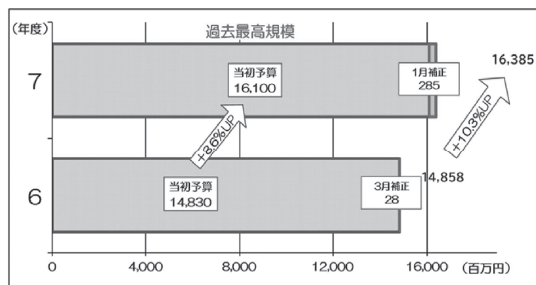
常任委員会報告

● 予算委員会

令和7年度勝山市一般会計予算161億円（前年度比8.6%増）と令和6年度勝山市一般会計補正予算（第7号）について審査を行い、いずれも可決しました。

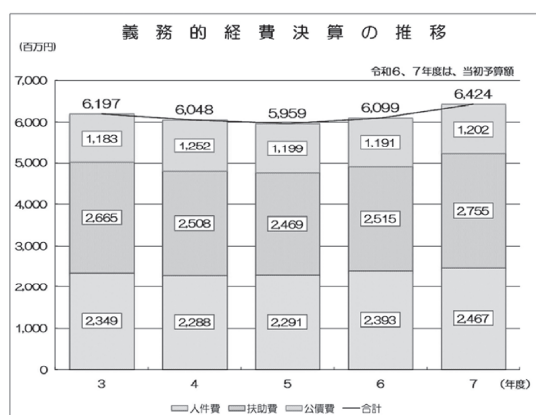
審査の過程では、さまざまな視点から多くの意見が交わされました。これらを含めて、主な内容を報告します。

◆ 当初予算【161億円】



令和7年度当初予算額は、161億円となり、前年度比8.6%の増額となった。また、昨年11月に閣議決定された、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」関連事業については、令和6年度1月補正予算に計上済みであり、当初予算と合わせた総予算額は、163億8,500万円と前年度比10.3%の増額となった。この当初予算規模は、市制施行以来、最高規模となる。

◆ 義務的経費【64億2,400万円】



人件費は、令和6年人事院勧告に基づき給料、期末手当、勤勉手当及び寒冷地手当が増額改定並びに扶養手当の段階的見直しを反映させたことから、会計年度任用職員を含む職員給与費は増額となった。また、共済組合負担金の負担率アップの影響を受け共済費についても増額となった。

人件費全体では、前年度比7,400万円増額の24億6,700万円となった。

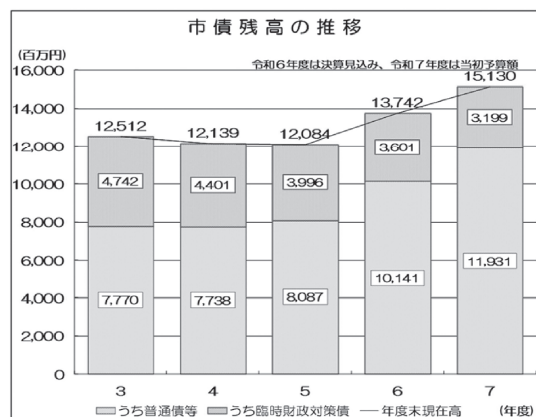
扶助費は、0歳から18歳までのすべての子どもたちへ「応援金115（いいこ）」を創設したことに加え、令和6年9月から実施した第1子からの保育料完全無償化が通年

ベース化及び保育士の処遇改善等を図るために実施された公定価格の増額改定に伴い私立認定こども園給付費負担金等が大幅な増額、令和6年10月分から拡充された児童手当制度が通年ベース化といった要因により、2億4,000万円増額の27億5,500万円となった。

公債費は、令和4年度から発行が可能となった過疎対策事業債の元金償還が始まるものの、福祉健康センターすこやか及び北谷町コミュニティセンターの建設に係る償還が終了することなどにより、元金償還は減額となる。一方、市場金利の上昇が影響し利率が上昇し利子償還が増額となるため、公債費全体では1,100万円増額の12億200万円となった。

義務的経費全体では、3億2,500万円増額の64億2,400万円となった。歳出全体の構成比では、39.9%を占めている。

◆ 市債【25億2,500万円】



建設事業等に充てる令和7年度の普通債の発行額は25億2,500万円で、前年度比8億100万円の大幅な増額となった。これは、令和6年度から3ヶ年の継続費により整備する勝山中学校校舎等建設事業が本格化することが大きく影響している。

このほか、令和5年度から実施しているビュークリーンおくえつ基幹改良工事に加え、防災行政無線や高規格救急車の更新、市役所庁舎の地下配電盤等地上化工事及び防災情報ネットワーク再整備など、緊急防災・減災事業債の発行が増額となっている。